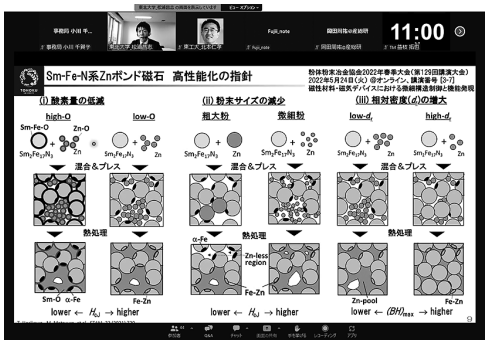
本会記事

2022年度春季大会報告

2022年度春季大会は，5月24日（火）～26日（木）の3日間，朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで開催するべく準備を進めていましたが，大型連休後の新型コロナウイルス感染症拡大への懸念等もあり，実行委員の方々と検討し，やむなくオンラインでの開催となりました．講演発表件数は，受賞記念講演7件，特別講演7件，招待講演14件，一般講演118件の合計146件，3日間で約350名の方にご参加頂きました．講演申込当初から，新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催となった場合，発表方法はライブ配信（Zoom）となる旨を予めご案内しておりましたので，大きな混乱もなく，オンライン開催へ移行することができました．これは，皆さんの中でオンラインによる大会発表・参加が大変浸透しているものであると感じました．



今大会では，1つの企画セッション，7つの講演特集，一般講演のご発表を頂きました．前回までのオンデマンド配信を取り入れたオンライン開催とは異なり，今大会では初めて全講演ライブ配信（Zoom）による発表を行い，発表者の緊張感も伝わってきました．講演聴講者数は，平均45名ほどでしたが，受賞記念・特別・招待講演においては，最大約90名と多くの方に聴講頂き，リアル開催と同じように活発な質疑応答が行われました．

大会初日5月24日（火）と最終日26日（木）は終日トラブルなく開催することができましたが，大会2日目25日（水）の第Ⅱ会場「ガラス科学とバイオインスパイアード材料」の講演特集では，Zoomにログインができず，約1時間遅れで講演がスタートしました．朝一番にご発表頂けなかったご講演については，本特集担当の先生方，発表者ご協力のもと，同日最終セッション後にご発表頂くことができました．先生方をはじめ，発表者，聴講者の皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたこと，改めてこの場を借りてお詫び申し上げます．オンライン開催を含む大会開催時のトラブル対応マニュアルを整備し，迅速に対応できるよう再度徹底して参ります．また，今大会は全講演ライブ配信ということもあり，急遽学生アルバイトさんに会場のタイムキーパーをお願いしましたが，スムーズにオンラインタイマーを操作頂き，円滑な運営ができました．ご協力有難うございました．



大会初日の講演終了後，オンラインにて定時社員総会，協会賞受賞式を執り行いました．定時社員総会では，任期満了に伴う役員選任が行われ，園田会長の新体制に引き継がれました．総会に続き，2021年度協会賞受賞式では，吉村前会長が賞状を読み上げられる様子，受賞者と賞牌がオンライン上に映し出されました．受賞者の方のお慶びの表情が参加者の皆様にリアルタイムでお伝えできていれば幸いです．今大会では，残念ながら懇親会がございませんでしたが，受賞者をはじめ，100名近い方々にご参加を頂き，盛会に終えましたこと感謝申し上げます．

2022年度秋季大会は，JSPMIC2022（11月13日（日）～15日（火））に引き続き，11月16日（水）～17日（木）に同志社大学寒梅館にて開催致します．本号に講演募集を掲載しておりますが，秋季大会では1つの企画セッションと3つの講演特集を予定しています．現地会場にて皆様にご発表，ご参加頂けることを心より願っております．

（小川　千賀子）